

杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

大学新聞

卒業特集

- 1面 理事長・学長祝辞
- 2面 学部長メッセージ
- 3面 卒業生たちの決意
 - 医学部 根本展希さん
 - 保健学部 萩原蒼さん
 - 総合政策学部 貝津啓太さん
 - 外国語学部 青山舞香さん

- 4・5面 写真で振り返る学生生活
- 7面 新しい世界へ羽ばたく皆さまへ 卒業生ゆかりの方からのメッセージ
- 8面
 - 連載 金田一教授の研究室から 健康ひとくちメモ 新生活へのアドバイス
 - 大学からのお知らせ 新体育館完成 ほか

卒業特集

新しい社会を創る皆さんへ

杏林大学は、新型コロナウイルスの感染防止のため、2021年3月21日に予定していた全学部合同の卒業式を中止としました。式典に代わり、4つの学部と大学院各研究科は3日間にわたり時間を分けて学位授与式を行います。

大学新聞25号は、コロナ禍での最終学年を知恵と工夫で乗り越えた卒業生の門出を祝う特集号としてお届けします。



卒業生に贈る言葉

まつだ ひろはる
理事長 **松田 博青**



て道の真中を歩み続けてください。トンネルの先には必ず光があります。

今の時代は急速に変化しています。働き方も変わっていくでしょう。これに柔軟に対応していくには、あふれる情報の中から、正しいものを把握し選択する努力が必要です。その上で、今まで培ってきた知識や判断力を基にした自分の考えを自分の言葉で表現し、行動できる人間になって欲しいと思います。

また自分の人生のある時期に、今の自分があるのは多くの方の支えがあったことに気づく時があります。その時には、お返しの気持ちで自分より弱い人たち、助けを求め人たちに自分にできる範囲で手を差し伸べる人生を歩んで行ってください。

優れた人格を持ち、人に尽くすという、建学の精神である「真善美の探究」を実践していただくと共に、母校の発展にも力を貸していただければと思います。これからのご活躍を祈念致します。

皆さん、卒業おめでとうございます。

今年は4学部揃っての卒業式を開くことができず残念に思っています。最終学年の充実した大学生活を送るべきこの1年、新型コロナウイルスの蔓延という事態に直面して、皆さんも不安な日々が続き、苦しい経験をした人もいます。

しかし社会に出ると、これまで以上に辛く厳しい状況に遭遇する事があります。そうした時に皆さんは決して安易な逃げ道や近道を探さず、歯を食いしばって

時代の推進者として

おおたき じゅんいち
学長 **大瀧 純一**



ご卒業おめでとうございます。

思いもよらなかった新型コロナ感染症で、生活様式が大きく変化しました。皆さん方の人間関係は「3密を避けて」という方針が示されたことから、一気に「孤独な生活」へと変化しました。

今回卒業される皆さん方は、昨年とは全く異なる社会へ出て行かれるわけです。いま社会では、業種により明暗が分かれています。驕る者や卑屈になる者なども少なからず見受けられます。人格を高め立派な人になることから、ややもすると外れてきております。

そのような中でこそ、よき人間性・人格を形成すべく本学の建学の精神「真善美の探究」は、皆さん方に良き道を示しています。現代のような不確実な時代においても、これから進むべき人生の指針を示すものとなっています。

いつまでもコロナ禍が続くわけではありませんし、これからの社会も日進

月歩であることに変わりはありません。

現代社会は、さまざまな場面でビッグデータや人工知能(AI)といった情報技術(IT)が用いられています。これからはITを活用して、新しいビジネスモデルの構築や組織改革を推進するデジタルトランスフォーメーション(DX)の時代になります。これらの推進者は皆さんです。

本学で学んだ基本を糧に、大いに活躍していただきたいと思います。皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

卒業特集 学部長からのメッセージ

医師として歩みだす皆さんへ

わたなべ たかし
医学部長 渡邊 卓



杏林大学医学部第46期生120名の皆さん、御卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症蔓延のため、医学部での勉学の総まとめともいべき国内外の医療施設でのクリニカルクラクシップが実施不可能となるなど、少なからずコロナ禍の影響を受けた中で卒業となってしまいました。

コロナ禍から学ぶもの

とはいえ、皆さんは、歴史にも語り継がれると思われる今回の新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延と、それを取

り巻く社会の混乱を体験することとなったわけです。

医学・医療の発展の目覚ましい現代において、突如姿を現した微小な病原体に人類が翻弄される状況を目の当たりにしたことは、医学を志す皆さんにとって、通常の医学部の講義や実習では学ぶことのできない貴重な経験となったものと思います。

ここで明らかとなった様々な医学的、社会的な問題は、医師として今後皆さんが取り組むべき多くの課題を提起しているように思います。この貴重な経験を、今後の医師としての活動に、是非、生かしてください。

病める人々のために

最後になりましたが、医学を志した初心を忘れることなく、病める人たちと常に誠実に向き合ってください。

皆さんのご活躍を心よりお祈り致しております。

コロナ禍の経験を力に

おかじま やすとも
保健学部長 岡島康友



するとポジティブに変えることもできると思っています。

コロナ禍を経た社会は変わろうとしています。グローバル化した社会は常にこういったリスクに曝されています。次世代を担う皆さんにはこういった変化に対応できる人財になってほしいと思う次第です。

自覚と誇りをもって活躍を

保健学部の卒業生の多くは医療・保健あるいは福祉の従事者になるわけですが、コロナ禍でもう1つ経験したことがあります。それは医療関係の従事者に対する国民の感謝の声です。感染のリスクを自らマネージして、社会に尽くす姿を国民は見てくれているのです。皆さんには、プロフェッショナルとしての自覚をもって社会に巣立ってほしいと思います。

最後になりましたが、卒業生を支えてくださった保護者の皆様には、特にこの1年のご苦労をお察し申し上げるとともに、感謝申し上げます。ありがとうございました。

コロナ禍のなか1年が過ぎました。この間、卒業生の皆さんには遠隔授業への対応、3密回避やマスク・手洗いの習慣化、学外病院実習の代替となるシミュレーション実習、オンライン就職面接など多くの新しいことが求められました。

一方、部活や学園祭は停止、友人との交流も制限され、かつて経験したことのない学生生活を送られたことと思います。

変化に対応できる人財に

これらはネガティブな経験であることは言うまでもありませんが、別な見方を

社会人に大切な3つのこと

きたじま つとむ
総合政策学部長 北島 勉



卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。総合政策学部での学生生活はいかがでしたでしょうか。

最終学年はコロナ禍で大変な1年となりました。そうした中でも、入学した時点と比べて、大きく成長したことを実感してくれているととても嬉しいです。

「挨拶」と「学びの継続」

これから社会人となるみなさんに、私が考える「社会人として大切な3つのこと」をお伝えしたいと思います。

1つ目は、挨拶をしっかりすることです。みなさんは、職場の同僚、先輩、顧

客等々、様々な方々とコミュニケーションを取りながら仕事をしていくことになるかと思えます。元気な挨拶は、良いコミュニケーションにつながります。

2つ目は、学びを止めないことです。技術革新、人口減少・高齢化、国際化の進展等々により、今後も、かなりのスピードで社会が変化していくことが予想されます。自分の仕事に関連することだけではなく、社会や経済の動向、新しい技術や考え方についても学び続けることが、社会の変化に柔軟に対応していく上で重要になります。

「健康管理」を欠かさずに

3つ目は健康管理です。心身ともに元気でなければ良い仕事はできませんし、人生を楽しめません。忙しい日々の中でも、バランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠と休養を心がけてください。

みなさんの益々の発展を心よりお祈りしています。

新しい旅を始める皆さんへ

さかもと
外国語学部長 坂本 ロビン



と見なしてみませんか。

自分と向き合う貴重な1年

この1年で皆さんは、将来にとって非常に重要な教訓を学んだと思います。家族の重要性に気づいたり、あるいは、一人で過ごす楽しみ方を学んだりしたかもしれません。

この1年でコミュニケーションの大切さを改めて理解されたなら、嬉しいです。自分が誰で何者なのか、自分が社会に何を与えなければならないかを深く考えた人も多かったのではないのでしょうか。

外国語学部は第2の故郷

皆さんは4月から、新しい旅を始めます。杏林大学に在る間に皆さんを支えてくれた友人や教員や職員を忘れないでください。そして時々、皆さんのスイートホームである外国語学部に戻ってきて、社会の一員として奮闘、成長されている姿を見せてください。

皆さんのご活躍を楽しみにしています。

ご卒業おめでとうございます。今年の卒業式は、色々いつもとは違ってきます。ですから、この機会に私の考えを皆さんと共有したいと思います。

卒業は皆さんのこの4年間の勉強、さまざまな活動の成果を祝うものです。多くの皆さんは、大学生活4年目にキャンパスや友人、教員と離れて過ごすことになってしまいました。このことだけを見ると、否定的で気がめいってしまいます。しかし、本当にそればかりでしたでしょうか。否定的に考えるのではなく、この1年を非常に特別な年

表彰学生

学園長・学長賞

- 医学部 後藤健太、御影杏菜、徳留真愛
- 保健学部 植草楓子、石黒三貴、青柳佐哉佳
- 総合政策学部 月岡杏菜、小田智美、氏家 優
- 外国語学部 乙戸智美、亀谷京子、原 千裕

杏林医学会 令和2年度第10回学生リサーチ賞

※令和2年度卒業生のみ紹介（全受賞者の受賞報告は、杏林医学雑誌 vol.52 No.2 に掲載されます）

- 保健学部卒業研究部門 新井純奈（臨床工学科）、宇都沙霧、西 彩花（看護学科看護養護教育学専攻）、大橋直輝（診療放射線技術学科）
- 学外活動部門 近藤弘太郎、熊木聡美、菅野直大、道佛香奈江、池嶋俊亮（医学部）

各学部では学業等に励み功績を残した学生を学部賞、杏会長賞、同窓会賞などとして表彰しています。

卒業特集

卒業生の決意

研究の魅力知り 医師像明確に

医学部医学科 根本 展希 ねもとのひびき

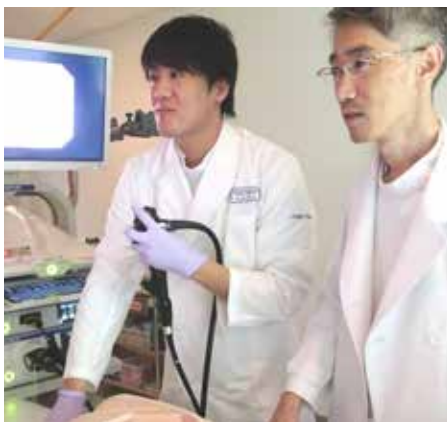
在学中に臨床研究に参加

私は在学中、消化器内科で炎症性腸疾患の臨床研究に参加してもらいました。データの整理や解析、解析結果を指導医の櫻庭先生などと考察したりしました。研究は臨床現場に還元される可能性もあるので、やりがいを感じていました。

研究結果を国内外の学会で発表する機会もありました。国際学会では、自分と同じテーマの研究がどう考察されているか知ることができたり、会場で、専門家に質問することやコメントを頂いたことも貴重な経験でした。

思い出深い生化学の授業

入学当初は研究よりも臨床への興味が強かったです。研究に興味を持つきっかけは、生化学の授業でした。「実習で特定した物質を実習で行った以外の方法で特定する実験方法について考察せよ」という課題は大変苦労して取り組みましたが、非常にやりがいを感じたのを覚えています。学年が進み臨床研究を学ぶと、基礎・臨床研究ともに実臨床に強く結び



内視鏡の実習をする根本さん。右は櫻庭先生についているのがわかりました。

医師としての夢に向かって

4月から研修医として医療現場に立ちます。まず自分の仕事をしっかり行えるよう努力します。そして、将来は、日々の診療で感じたクリニカルクエッションをもとにした基礎研究や臨床研究、さらに留学にも挑戦したいと思っています。

幅広い視野と知識を持ち、結果的に患者さんや医療現場に還元できる医師になりたい。そのためにも1つずつ着実に邁進していきたいと思っています。

医学部 助教 櫻庭彰人 さくらば あきひと

根本さんのように在学中から自分の目指す医師像が明確で、すでにそのいくつかを達成している学生は多くないと思います。今の研修医を見てもそれほど多くないでしょうし、自分自身そうでした。この数年間は指導的立場としてではなく、仕事の仲間として刺激をもらいました。これからお互い高め合っていきましょう。根本さんが医局に出入りするようになってから長いので、まだ学生だったのかと改めて思いましたよ。いよいよドクターですね！卒業おめでとう！将来が楽しみです！

野球から学んだこと忘れず

総合政策学部企業経営学科 貝津 啓太 かいつけいた

コロナ禍のシーズン、主将として

コロナ禍で始まった2020年、野球部の主将を務めました。春季リーグ戦が中止になったため、杏林が所属する東京新大学野球連盟の1部リーグの主将6名がオンラインで話し合い、代替トーナメント大会の提案書を連盟に提出。同連盟会長でもある顧問の内藤先生や関係者の皆様の尽力で、大会が実現しました。練習を積んできた学生の声に添えていただき、とても感謝しています。

自主性やチームワーク学ぶ

キャンパスとグラウンドが離れているため、練習時間を確保することが大変でした。私もレギュラーを勝ち取るために自主練習をして鍛錬しましたが、仲間と試合の結果をフィードバックして、目標を立てて繰り返し行う練習もしました。こうしたことで真の自主性を学びました。

大学最後のシーズンでベストナインを獲得しました。支えてくれた両親そして監督さんや仲間、全ての方々のお陰と感謝しています。



私の経験から、後輩には、自分の強みを活かして、目標にむけてガンガン練習してほしいと思っています。結果が全ての世界で、苦しいこともあります。皆で乗り越えてほしい。そして杏林野球部らしく明るくプレーしてもらいたいです。

恩返しは社会貢献で

これからは、今まで私を支えてくれた人たちに社会貢献という形で恩返しをしたいと思っています。

4月からは営業職として、お客様の問題解決の手助けができるよう頑張ります。

硬式野球部顧問 / 総合政策学部 教授 内藤高雄 ないとう たかお

貝津さんは、100名近い部員をかかえる硬式野球部の主将として奮闘してくれました。コロナ禍ではより大変な役割だったと思います。他大学の主将とともに連盟役員と交渉して、中止となった春のリーグ戦の代替トーナメント大会を実現させたことは、何ものにも代え難い経験だと思います。その努力が秋のリーグ戦でのベストナイン獲得につながったと思います。この特別な経験を今後の人生に生かしてもらいたいと思います。

身についた行動力活かして

保健学部理学療法学科 萩原 蒼 はぎわら あおい

ボッチャ大会で優勝

2019年11月に行われたボッチャの「大学選手権東日本大会」で優勝しました。

ボッチャはパラリンピック公式競技ですが、障がいの有無や年齢を越えて楽しめる競技です。杏林はこの競技の普及に力を入れていて、私も初めは小学生や高齢者にボッチャを教えるボランティアをしていました。先輩が大会に出場したこともあり、私も友人と参加を決めました。

教えるのと試合は全く違いましたが、相手とのかけ引きやチームで作戦を練る面白さがあり、優勝できたことはとても嬉しかったです。

挑戦と経験の大学生活

私の地元、羽村市の高齢者向け健康教室のボランティアに参加したことも大きな収穫でした。

主に、ロコモティブシンドロームをチェックする運動機能の測定を手伝いました。参加者が緊張せず、安全に測定できるよう、地元の話題を入れながら、声かけと目配りを心がけました。



大学選手権東日本大会出場メンバー（一番左が萩原さん）

他にも、福祉住環境コーディネーターの資格を取得したり、初めてハーフマラソンも走ったりしました。

新しい経験に対するためらいがなくなり、色々なことに挑戦した大学生活でした。

生活豊かにできる理学療法士に

一人でも多くの患者さんの生活を豊かにできる理学療法士になりたいと思います。まずは、理学療法士として一人前になれるよう、経験できることには積極的に関わっていきたくです。

保健学部 助教 相原圭太 あいほら けいた

理学療法士が関わる分野は、医療機関だけでなく、障がい者スポーツや地域在住高齢者の健康維持・運動指導など多岐にわたり、その需要は高まるばかりです。萩原さんは、様々なボランティア活動に参加することで、理学療法士の役割や重要性を身をもって経験できたのではないのでしょうか。これまでの活動で得られた経験や行動力を活かし、今後は医療機関の中だけの活躍にとどまらず、地域全体の健康を支えることのできる理学療法士を目指してほしいと思います。

挑戦する心これからも

外国語学部観光交流文化学科 青山 舞香 あおやままいか

自分の言葉で伝えるために

学生時代の一番の思い出は、学生広報スタッフ（通称:MITAI×INOKASHIRA）の一人として活動をしたことです。

オープンキャンパスでは、相談コーナーを担当しました。高校生が質問しやすい雰囲気づくりや杏林大学の魅力を伝える新しい資料作りに仲間と共に挑戦しました。参加者から感謝の言葉や「入学したいと思った!」と感想もいただきました。誰か(高校生)の人生を変えるかもしれないイベントに関われたのは良い経験でした。

大学広報をテーマにしたプレゼンテーション大会では、自分の意見を伝える大切さを学びました。また、企画の目的や得られる結果を繰り返し考えることで、物事を深く考えるようにもなりました。こうした経験は、目的意識を持って主体的に行動できるきっかけになりました。

相馬市観光冊子を考案

古本ゼミの活動で、福島県相馬市の観光協会と連携してツアーパンフレットを



考案しました。現地に足を運ぶことでその土地や人々の実情がよくわかり、魅力の発見や課題解決につながられたと思います。

現地の方や観光客、私たちのような第三者など様々な視点から物事を考える大切さも学びました。

笑顔ある暮らしをサポートしたい

卒業後は、大学で学んだことを活かして、自分らしく、いろいろなことに挑戦したいと思っています。

春から公務員として、生活する人の笑顔と暮らしやすい都市づくりに貢献できるように努力を重ねていきます。

外国語学部 准教授 古本泰之 ふるもと やすゆき

青山さんは在学中、自らが立てた目標の達成に向けて着実に進んできました。ゼミでも、手際よく議論をまとめたり自前のPCで資料を作成したりする姿が印象的でした。また、単に効率のなだけではなく、MITAI×INOKASHIRA やまちづくり活動など、新しいことへの好奇心も旺盛でした。そんな青山さんは公務員としても活躍できていると思っています。その姿が、観光を学ぶことの幅広い意義を後輩に伝えていくのではと期待するところです。

国際交流の機会を提供
テキサス A&M 大学 George Adams 先生

Kyorin University and Texas A&M University have had a special relationship. A&M students loved their 10 weeks at Kyorin University. Most of them are still in contact with the friends they made at Kyorin. Friendship requires trust. To be a good friend means that a person must be worthy of trust. Successful adult relationships in work, family, and society require trust. That means that a successful adult must have a sense of honor when dealing with people. Societies in which citizens trust the people and institutions around them will be more humane than those where people lack trust. That's what I want for every students: in their adult lives, to live and work in a society where there is trust among most people. Then they will make their worlds better.



観光をテーマに地域学習の場を提供
福島県相馬市観光協会
遠藤美貴子様、井島順子様

観光交流文化学科の学生達に相馬市の観光ツアーコースや合宿誘致のデジタルパンフレットを作成してもらいました。準備のために、東京から何度も来てもらい、蟹釣り・漁船の乗船体験・歴史散策などのコンテンツを体験してもらったことが懐かしいです。これからもワクワク・ドキドキすることを忘れず、楽しく仕事をしてください。松川浦若旦那の「マイナスからプラスへ」の精神を思い出して、常に前を向いて頑張ってください。お待ちしております(〇〇)ノ

杏林大学
英語サロン
Jacqueline Talken 先生



Congratulations graduates! We wish you all the very best as you embark on new careers and new adventures. The world is full of interesting cultures and beautiful sights - experience as much of it as you can!

丸善杏林大井の頭店
店長 松田敬子様



私たちスタッフへの丁寧な言葉遣いや優しい態度が印象的な学生さんたちでした。友人同士仲良くチキンを頬張ったり、「男気じゃんけん」を楽しそうにしている姿も微笑ましかったです。杏林での学び・経験を今後は自信に変え、皆さんらしく夢に向かって歩いてください。大学にいらした際は、丸善にぜひお立ち寄りください。皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

杏林大学
キャリアサポートセンター
田倉由紀子さん



大学生活最後の年が想像もしない一年となりました。その中で将来に向けて真剣に頑張る皆さんを応援できて私も嬉しく思っています。進路を選ぶことは簡単ではなく、色んな葛藤や苦労があったと思います。この先、長い人生の中で何度も大事な選択をする時は訪れるでしょう。その時はこの大変な一年を乗り越えた経験を思い出し、自分を信じて道を切り拓いていってください。皆さんが、様々な方面でご活躍されることを心から願っています。

杏林大学
井の頭図書館
森 春子さん



今年度の卒業生の中に、図書館でアルバイトをしてくれた学生がいます。カウンターでの貸出・返却対応や利用者へおすすめ本を紹介するPOP作成など図書館スタッフの一員としての活動。館内イベント企画の提案やアルバイト学生を取りまとめるリーダーとして活躍していただきました。これからは学生時代とはまた違った自由があります。仕事以外にもいろいろと楽しみを見つけて素敵な社会人生活を送ってください。

杏林大学医学部同窓会長 幾瀬 貫様



卒業された皆様、心よりお喜び申し上げます。新型コロナウイルス流行により、対面での講義も制限されたり精神的なストレスを乗り越えるなど初めての経験をされたと思います。社会人になると、職場環境、仕事、人間関係など初めての連続となります。やる気満々でも心が折れそうになる事もあるかもしれません。私が仕事を含めて大切にしている事に、前向きにとらえてポジティブに対応する気持ちを持って努力をする事があります。気のもち様で人生は大きく変わります。ご活躍を同窓としてお祈りしております。

ピースメッセンジャー派遣事業を担当
羽村市企画政策課
並木政人様、尾嶋愛弓様



学生さんには、青梅市と羽村市の中学生を「青梅・羽村ピースメッセンジャー」として広島に派遣する事業のリーダー役を担っていただきました。中学生や指導員からも信頼が厚く、グループをしっかりまとめてくれました。広島での体験や、リーダーとしての経験を活かし、幅広い分野で大いに活躍されることを願っています。たまには「羽村」のことを思い出して、遊びに来てもらえると嬉しいです。いつでもお待ちしております！

卒業特集

新しい世界へ羽ばたく皆さまへ
ゆかりの方からのメッセージ

メッセージ全文は大学ホームページで紹介しています。右のQRコードからご覧ください。



学園祭など大学のイベントでおいしいパンを提供
トーホーベーカリー代表取締役 松井成和様



店が大学に近いので、利用してくれる学生さんも多いです。学園祭に出店させてもらったこともあります。昨年、一昨年は台風やコロナで中止になり、皆さんも残念で仕方なかったと思います。学生時代は、人生の夢や目標を明確にするための充電期間でしたが、これからは社会人としてそれを実行することになります。大変なことも多いと思いますが、若さ120%で充実した社会人生活を送ってください。そして、少しでも社会に貢献できる素晴らしい社会人になってください。

学生広報スタッフを教育・サポート
リクルート 富田亜紀子様、須藤 藍様



卒業おめでとう！ MITAIで一生懸命に活動した経験が、社会人になってきっと活きてきます。みんなの大きな成長に立ち会わせてもらって感謝。これからもずっと応援してます！（富）
大学2年の時から丸3年、皆の成長をずっと見てきました。最初は人前で話すことも苦手で小声だった皆が、リーダーとして後輩を引っ張ってゆく姿、とてもカッコよかったです。これからの活躍に期待！（須）

学生が地域から学び、住民と交流する機会を提供
三鷹市地域ケアネットワーク一同様
(三鷹市役所地域福祉課)



学生の皆様には、「高齢者のストレッチ講座」の補助員をしてもらったり、地域ケアネットワークの合同事業などに参加してもらいました。高齢者に丁寧に対応する姿などが印象的でした。こうした地域での経験は、皆様が社会人として活躍していく中で、大きな財産になると思います。私たちも皆様と意見を交換し協力し合えたことで、新たなアイデアに気付き魅力ある事業を実施することができました。今後は社会人として、お住まいの地域とのつながりを大切に、地域の発展に寄与していただければと思います。

杏林大学
少林寺拳法部監督/医学部事務課
田口裕也さん



今年の卒業生は、努力を重ねて大会で入賞したり、実習の時期もコツコツ練習して実力をつけたり、いつでも気配りができたり思い出深い部員ばかりです。社会人としての生活に慣れるまでは、心身ともに余裕のない毎日でしょう。コロナ禍での苦労もあると思います。しかし、大変だからこそ日々の業務に全力で取り組んでみたいと思います。また、大学生活で得た人間関係は一生ものです。皆さんが今までに結んだ縁を、大事にしてください。

国際交流の機会を提供 四川大学外国語学部日本語学科主任 張平准教授



2019年7月日本杏林大学外语学院中文系同学参加了四川大学2019年国际课程周活动、与日文系的同学们一起聆听了松田威廉老师题为“茶与东亚文化”的讲座、并围绕“中日汉字对比研究”进行了发表。同时、还参观了博物馆、熊猫繁育基地、中日企业。

中日学生通过交流、增进了友谊、开拓了视野。杏林大学同学们在国际周中所表现出的学习能力、研究能力、协作能力以及良好的跨文化交际能力、都给我们留下了深刻的印象。衷心祝同学们前程锦绣、锦绣前程！

杏林大学外国語学部の学生達は、2019年7月に四川大学の国際交流サマーキャンプに参加しました。「日中漢字比較研究」などをテーマに発表したり、博物館やパンダ繁殖基地、成都市内の中国・日本企業の見学など、12日間の交流で日中の学生達は友情を深め、視野を広げることができたようです。私たちは、杏林大学の学生さん達の協力して課題に取り組む力や異文化コミュニケーション力に感銘を受けました。この度、卒業される皆さんの門出をお祝いします。素晴らしい未来が訪れますように！

ボランティアなど学生の活動場所を提供 東京弘済園様

ご卒業おめでとうございます。ご縁あつての多様な繋がりに心から感謝申し上げます。ボランティアの吹奏楽団、認知症予防の脳トレ活動、東京弘済園まつりでの心肺蘇生体験指導の救急救命サークル、そして実習生を含め関係者の皆様には、東京弘済園の利用者に多くの幸せをもたらしていただきました。ご卒業の皆さまには健康で幸せな、そして希望に満ちた未来が訪れることを東京弘済園一同、心からお祈り申し上げます。



左の建物が社会福祉法人東京弘済園、奥が杏林大学

僻地医療を学ぶ機会を提供

福島県南会津町 館岩愛輝診療所 所長 山田仁先生



僻地医療の現場を体験してもらつたため、毎年杏林の学生を受け入れています。いつも言うのは、診察室に入ってきた患者さんを笑顔で迎えること、目を見て話すこと、話をよく聞くことです。医師として以前に、人としての礼節が必要だと話すと、目を輝かして聞いてくれるのが私にとって素敵な思い出です。

わずか4～5日間の見学実習ですが、都会の診療所と僻地診療所の違い、介護老人保健施設と他の老人福祉施設の違いを知るだけでも、皆さんの役に立つと思います。医療と介護、すなわち医療包括の考え方も理解できる医師になってほしいと思います。

地方は医療過疎が続いています。その地域の人達のためにも、総合診療が出来る医師が育ってくれることを願っています。皆さんの活躍を期待しています。

杏林大学

学生支援センター長 / 保健学部教授 望月秀樹先生



学生支援センター長として、一教員として多くの学生と接してきました。皆さん大変はじめで将来に対し希望を持っていると感じています。

知識も技術も未熟な学生が、臨床実習の中で一生懸命患者さんに関わることで、その方がリハビリに励み、症状が改善することがあります。学生が、懸命に人と関わることで人の心と身体を動かせることを学び、セラピストとして成長していく様を幾度も見てきました。

皆さんが杏林大学で学んだことを生かし、社会のため人のために専門職として貢献し、活躍できるようお祈りしています。

卒業特集

新しい世界へ羽ばたく皆さまへ

ゆかりの方からのメッセージ

メッセージ全文は大学ホームページで紹介しています。右のQRコードからご覧ください。



杏林大学

外国語学部教授 倉満江先生



外国語学部創設以来、33年間教鞭を執ってきました。その間、毎年必ず行っていたのは神田本屋街でのゼミ

生との本屋巡りです。卒業アルバムのゼミナールの頁には全員で聯句を作って載せました。

最も印象に残っていることは、母と娘の親子二代を教えたことです。もし今後、お孫さんが入学されたら、是非お知らせいただきたいですね。

私も一緒に定年です。誰がどんな夢を叶えるか、同窓会で語り合う日を楽しみにしています。皆さんが社会で存分に活躍されますように！今年卒業する学生諸君に饒の言葉を贈ります。

杏林大学

元副学長・国際交流センター長 ポール・スノードン先生



Is Mr. Suga the President of Japan? Is he the Secretary-General? No! He is the Prime Minister. So how about Mr. Biden? Is he the Prime Minister of America? No! he is the President. Please pay attention to the different roles of different people in different countries.

America now has a new President and Vice-President. The Vice-President's name is Ms. Harris, but how do you spell her first name, カマラ? Does it begin with Ca, or Ka? Only one spelling is right! Please remember the English spelling of important people in the world.

Always, always, when you see the カタカナ name of a person, or a city, or a country, please find out how to spell it in the Roman alphabet. That spelling may be a useful fact for you in the future.

For example: アトランタ; チャーリー・チャプリン; デンマーク... Don't stop! Learn a new one every day!!

杏林大学

井の頭キャンパス警備隊長 小藤義勝様



杏園祭実行委員の学生さん達と打合せをしたことが印象に残っています。車両の動線計画など緻密に立てられていて感心しました。

他の学生さんとは、部室の鍵の受け渡しなどで対応しましたが、しっかりしていましたし、元気良く挨拶してくれて、嬉しく思いました。コロナ禍という大変な時期に卒業となりましたが、近い将来、必ず普段の生活に戻ります。常に明るく前を向いて、目標に向かって進んで下さい。

杏林大学

医学部特任教授 赤木美智男先生 (医学教育学)



医師に限らず専門的な知識や技術を用いて仕事をするプロフェッショナルは、クライアントから信頼されることが非常に重要です。信頼を得られるかどうかは、知識や技術のレベルにも関係しますが、最終的にはその人の「人となり」が決め手になります。

医師としての姿勢、生き方が評価されるのです。優れた先輩をロールモデルとし、日々のふり返りを通じて人格を陶冶することにより、良き医師に育って行かれることを祈念します。

杏林大学

学生相談専任カウンセラー 保健学部講師 五嶋亜子先生



コロナ禍で不自由な思いやさまざまな不安を抱える日々を乗りこえて、卒業を迎える皆さま、心よりおめでとうございます。

学生相談は、先が見えないように感じたり、気持ちがしんどい時に出会う場ですが、出会いの中で、どの学生さんにも、かけがえのないその人らしさが見えてきます。厚い雲の奥にも必ず太陽があるように、人生も、光が見えないときがあっても、必ずまた光が差し込みます。

だから、どんな時も大丈夫、と安心して、それぞれの道で、自分らしく輝いてください。

学生が救護ボランティアとして活動

三鷹市民駅伝大会実行委員会一同様

ご卒業おめでとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、中止を余儀なくされた「三鷹市民駅伝大会」では、毎年多くの学生の皆様に救護ボランティアとしてご活躍いただき感謝いたします。身近な地域に寄り添って活動をしてくださったご経験は、これから進まれる道でも必ず力になると思います。

三鷹市民駅伝大会実行委員会メンバー一同、皆様の今後のご活躍をお祈りしています。

杏林大学

医学部付属病院臨床検査部 技師長 関口久美子さん



検査部では、臨床検査技術学科の学生の病院実習を受け入れています。

杏林の学生さんはおとなしい印象ですが、患者さんからは「優しく対応してもらった」と言葉をいただくこともありました。実習後は顔つきが違うのが印象的でした。授業と違う緊張感と、臨床検査技師の働きを経験したことで、やりがいや楽しさを感じたのでしょうか。

4月からの生活の変化に不安を感じる方もいると思いますが、気負わず自然体で、誠実に、一生懸命次のステップに向き合ってください。

ナチュラルローソン杏林大学病院店 店長 麻生あさみ様



杏林の学生さん達は真面目で素直という印象があります。でも店内でお菓子が入ったカゴをひっくり返し、笑いながら立ち去ろうとした学生を叱った、などということもありました。

人のために尽くし、大勢の人を助けてあげられるような医師や看護師になってください。応援しています。

杏林大学

硬式野球部監督 萩本有一さん



4年生の皆さんお疲れ様でした。今年度は、コロナの影響で春のリーグ戦が中止。秋のリーグ戦だけに残り残念な思いしかありません。チームの成績は良くありませんでしたが、4年生の選手は、各々がベストを尽くして個人として最高の結果を出し、安堵しました。これまでの努力が実を結びましたね。

春から皆さんは社会の1年生です。野球を仕事に置き換えて、たゆまぬ努力で成長する事を願っています。頑張ってください。



金田一 秀穂 (きんだいち ひでほ) : 1953年東京生まれ。東京外国語大学大学院修了。中国大連外語学院、米イェール大学、コロンビア大学などで日本語講師。1988年より杏林大学外国語学部で教鞭をとる。2019年杏林大学特任教授

Z世代の卒業

皆さんの未来について確かなことは言えないのだが、わかることが3つある。今までよりも、生きる時間が長い。平均寿命が90歳、あと70年、生きなければならない。生きる空間も広がる。卒業後の場合は、いやおうなしに日本にとどまることが出来ない。暮らしの中にAIの占める役割が増える。だから、ヒトがヒトである意味が大切になる。

私たち昭和世代は、一生を70年の単位で考えていた。60で仕事を辞めて、70まで隠居生活を楽しみ、80過ぎで死ぬ。ところが、Z世代は、私たちが生まれて死ぬまでの70年の時間を、これからやっとなごし始めることになる。私たちが生れたばかりのときを既に20年生きてきて、これからすべてを始められるのだ。

これはとんでもないことだ。確実に言えることは、慌てなくていいということだ。焦らず騒がず、じっくりと将来を考えたい。時間が有り余っている。

新型コロナの厄災に象徴されるように、これからの事件は、国境を越えていく。地理的な遠近は関係がない。地球上の生命体系の歪みのようなものが、全世界に波及していく。ヒトも情報も、境の中にとどまれない。一見何も無い空間が広がっ

ていて、それを砂漠のような恐怖の世界であると感じるか、風通しのいい自由な空間であると感じるかは皆さんの感受性による。そこで持てる能力を発揮できる力をもたなければならない。

自分探しの旅とか言うけれど、本当の自分は実はどこにもない。本当の自分は、旅をしながら、拾い作り出していくものなのだ。

Z世代は、生まれながら、ITを鉛筆のように、図書館のように、Tシャツのように使いこなしている。AIの果たす役割はますます生活の中に浸潤してきて、多くのことが解決されていくかもしれない。しかし、そこでのヒトは、ヒトであることの意味がとても大切になるに違いない。ヒトしかできないこと、ヒトであることで可能になること、そうした領域が、確実に堅持されるだろう。ヒト的であることが絶対的に要求される時代が始まる。

長い時間と広い空間と人間的な精神とが、みなさんを待っている。様々な問題を解決する最低の道具は杏林で与えられているはずだ。成功を祈る。



大学からのお知らせ

「松田進勇記念アリーナ」完成

新しい体育館、松田進勇記念アリーナが完成しました。学園創立者の名がつけられた体育館は、地上3階建て、1階はバスケットコート2面のアリーナ、2階は柔道場、剣道場、スポーツジムです。観覧席は全体で約3,000席となります。



新体育館 (2月下旬撮影)



2階観覧席から見たアリーナ

杏林大学医学部講義棟建設中

新体育館の西側で杏林大学医学部講義棟の建設工事が始まっています。建物は地上6階建て、大・小の講義室、自習室などのほかカフェが併設されたラーニングセンターが設置されます。竣工予定は2022年3月です。



医学部講義棟イメージ (上)。現在、建物の基礎工事が進んでいる。鉄筋の組み立て完了後、順次コンクリートの打設が施工されていく (2/19撮影)



教育・研究・医療環境整備のための募金

杏林学園は、未来に向かい志をいざく学生をサポートするため、そしてあたたかい心のかような良質な医療を提供するための募金活動を行っています。

杏林学園募金Webサイト QR code and list of donation types: 杏林大学教育研究募金, 医学部付属病院への寄付, 杏林大学医学部講義棟建設募金, 奨学寄付金, 杏林大学リサイクル募金 (ほか)

健康ひとくちメモ 25

新生活をスタートする皆さんに、心身の健康をテーマにしたコラムを2つお届けします

ストレス回避し新生活を楽しもう 医学部教授 渡邊 衡一郎

ご卒業おめでとうございます。杏林大学で、楽しかったこと、辛かったことなどたくさん経験されたと思います。特に最終学年では、コロナ禍でオンライン授業が中心になるなど、行き場のないやるせなさを抱えていたと思います。しかし、皆さんは工夫し、変化に適応することで、この困難を乗り越え、無事に卒業を迎えることができました。

入学時のご自身と比べ、知識だけでなく、人として確実な成長を感じることができているのではないのでしょうか。卒業という晴れのこの日、改めてご自身を「お疲れ様、よく頑張ったね」とねぎらってあげてください。

新天地に臨む皆さんへ「3つの心得」

これから、皆さんはそれぞれ新天地に臨まれます。資格を取得しプロとしての一歩を踏み出す人、全く異なる世界に飛び込んで行く人など、それぞれの世界に、それぞれの船を漕ぎ始めるわけです。

ここで、僭越ながら人生の先輩として、僕なりの心得を3つ伝授したいと思います。

- 3つの心得
1. 周りをよく観察すること
2. あれこれ新しい物事をすぐにマスターしようと焦らないこと
3. 新しい仲間と心を開いて良好な関係を構築しようとする

コロナ禍のストレス回避法

新しい環境に順応するには、多大なエネルギーを要します。非常に疲労しやすい状況です。しかもコロナ禍でリフレッシュや気分転換もしにくく、かかるストレスは通常時のおよそ2倍とされています。そのことを忘れず焦らないこと。壁にぶつかったら、頭で考えず、書き出して問題を整理すること。出来る限り自分の時間を作り、規則正しい生活を送り、睡眠をしっかりとること。ビデオ通話などを利用してなるべく友人や家族と連絡すること。「顔を見て話す」とより心が落ち着くと思います。そして大切なのは運動。ウォーキングやストレッチなどで身体を動かしましょう。

皆さんが、杏林大学で学んだこと、培ったことを新天地で活かし、さらに大きくステップアップされることを心から祈っています。皆さんに幸あれ!



わたなべ こういちろう : 杏林大学医学部精神神経科学教室教授、学生支援センター長。専門は臨床精神医学全般 (特に気分障害)

ひとり暮らしの食生活 保健学部准教授 大久 朋子

春は旅立ちや新たな出会いの季節です。この春からひとり暮らしを始める人も多いと思います。ひとり暮らしは言うまでもなく、誰に邪魔されることなく自分の思う通りに自由な生活を楽しめます。

自由を満喫できるひとり暮らしですが、戸惑うこともあるでしょう。例えば食事です。これまでは帰宅すれば温かい食事が準備されていた人も、自分で食事の準備をすることになります。ひとり暮らしをきっかけに、自炊にチャレンジしようと考えている人もいます。そこで、これから自炊を始めようと思っている人へ一言。

食事は彩り重視

「バランスのいい食事」とはよく聞く言葉ですが、具体的にはどのようにすればいいのでしょうか。その答えは「彩り」です。メインのおかず(肉類や魚類)は茶色、ごはんやパンは白色です。それ以外の料

理で食事に彩りを加えましょう。野菜や海藻類は色が豊富で、彩りを良くするのに便利です。例えば葉物野菜は緑色、ニンジンやトマトは赤色、わかめやヒジキは黒色、トウモロコシやパプリカは黄色です。これらを考えて食事をすれば自然と栄養バランスは整ってきます。彩りのいい食事はバランスのいい食事です。

頑張って自炊??

健康のためには自炊が絶対!と思いませんか。自炊は調味料や油脂類の調節が可能となるため健康的と言えるでしょう。しかし、疲れた日には買って来たお惣菜をお気に入りのお皿に彩りよく並べて、お家でゆっくりと食事を楽しむのはいかがでしょう。冷凍野菜は簡単に食事を彩りよくできるのでおすすめです。

食事は楽しく美味しくいただきます。

おおひさ ともこ 杏林大学保健学部健康福祉学科准教授。管理栄養士



編集を終えて.....

- ご卒業おめでとうございます。最後の一年間は、コロナ禍による異例続きな日々でしたが、無事この日を迎えることができました。総まとめである最終学年において思い描くような学習や実習にならなかったかもしれませんが、医療従事者の使命や緊急時の社会の動きを実体験することができたと思います。これらは得難い体験でもありました。今後に向けての貴重な糧としてください。本号は卒業記念特集として卒業生の皆さんへ様々な方々からのメッセージを送りました。皆さんの今後の活躍を大いに期待しています。(望)
・皆そらっての卒業式、そんな当たり前のことができない1年でした。今号はそうした卒業生たちに贈る特集です。学内や地域、そして国内外のさまざまな方々に卒業生へのメッセージをお願いしました。皆さん快く応じていただき、学生たちとの交流が根付いていることを実感しました。社会に出ても人と人とのつながりが原点です。コロナで社会が変わってもこれは不変です。学生時代に学んだこのことを心に刻んで、新しい世界で飛躍して欲しいと思います。(鳥)
・新聞編集中の2月13日、福島県で最大震度6強の地震が発生しました。数日後、7頁で卒業生にメッセージをくださった南会津町の山田先生に連絡をしました。ご無事な様子に安堵しました。コロナ禍での被災にも関わらず、あたたかい言葉をいただき感謝します。(酒)